

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	野生生物専門家活用事業	<b>担当部局庁</b>	自然環境局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度	<b>担当課室</b>	野生生物課	課長 亀澤 玲治				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	5-3 野生生物の保護管理					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(第46条)	<b>関係する計画、通知等</b>	保護増殖事業計画					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	学位・経験を有する専門家を雇用し、生息域や飼育下での保護増殖事業、テレメリーや観測衛星による生息状況調査、野生生物の保護活動の技術的指導等に従事させることなどにより、地方環境事務所の体制強化が図られ、国内希少野生動植物の保護施策を効果的・効率的に展開する。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	保護増殖事業、生息状況調査等を促進する必要性が特に高い地区に野生生物専門家を環境省が雇用し、生息状況調査等を実施。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	31	31	30	30	30	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	31	31	30	30	30	
	執行額	29	31	37				
執行率(%)	93%	100%	123%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	本事業費は、専門家を雇用した生息状況調査等であり、定量的な成果目標を設定することは困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	7箇所の野生生物保護センターで、7人の専門家を雇用		活動実績 (当初見込み)	人	7	7	7	-
					-	-	-	( 7 )
<b>単位当たり コスト</b>	4,219,000 (円/人)		算出根拠	「単位当たりコスト」=「事業に係る経費(30百万)」/「雇用人数(7人)」				
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	鳥獣等保護費	30	30	-				
	計	30	30					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>野生生物の保護増殖を実施するためには生態等に関する専門的な知識と、行政判断が必要となり、事業の実施に当たっては職員の専門的な知識を補う上で、必要な経費である。今後とも野生生物専門家を有効に活用し、効果的・効率的な保護増殖事業を展開する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>引き続き効果的な事業実施に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

環境省  
37百万円

野生生物専門家活用事業  
【内容】  
保護増殖事業、生息状況調査等を促進する必要性が特に高い地区に野生生物  
専門家を配置し生息状況調査等を実施。

北海道地方環境事務所  
5百万円

東北地方環境事務所  
4百万円

関東地方環境事務所  
6百万円

<随意契約>

<不落随契>

<一般競争入札>

A (財) 自然環境研究センター  
5百万円

B WDB(株)  
4百万円

C (財) 自然環境研究センター  
6百万円

九州地方環境事務所  
5百万円

那覇自然環境事務所  
17百万円

<一般競争入札>

<一般競争入札>

D (財) 自然環境研究センター  
5百万円

E (財) 自然環境研究センター(3件)  
17百万円

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(財)自然環境研究センター			E.(財)自然環境研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	野生生物専門家派遣業務	5	雑役務費	野生生物専門家派遣業務	6
計		5	計		6
B.WDB(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	野生生物専門家派遣業務	4			
計		4	計		0
C.(財)自然環境研究センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	野生生物専門家派遣業務	6			
計		6	計		0
D.(財)自然環境研究センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	野生生物専門家派遣業務	5			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	5	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	希少野生動植物の生息状況調査等	4	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	6	1	94.2

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	5	1	94.8

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	6	1	99.1
2	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	6	1	98.4
3	(財)自然環境研究センター	希少野生動植物の生息状況調査等	5	1	80